

酒とパソコンと少々ミルク

リスク評価

成光 昭男

年を重ねるにつれ、時の流れが速くなる。やりたいことも多いが、やれる時間は短くなる一方だ。あまり欲張りすぎると躓いてしまう。

今年は台風対策のための農作業中に油断をして、地面の小さなくぼみに足を取られ、膝を痛めてしまい、年末まで尾を引いている。

さて、GAP(7月号、8月号を参照)では、リスク評価が基本になる。どこが問題か、なぜ問題か、どの程度問題かを評価する。そして、どうすれば良いかを考え、改善することが大切だ。

では、私の農作業中の事故を振り返って、リスク評価をしてみよう。

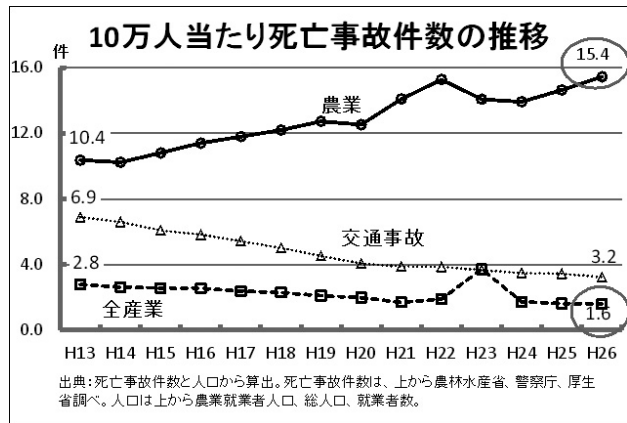
こるべくして起こったということ。まあ、不注意、自業自得なので、対策をしっかり行っていれば、防ぐことができた事故なのであった。

評価点	レベル	リスクの見積もり
1、2	1	軽微なリスク
3、4	2	潜在的なリスク
6	3	重大なリスク
9	4	非常に危険なリスク

施設・機械	農業ビニールハウスの周囲
作業工程	被覆資材の被覆及び撤去
危険有害要因	ハウスの周囲の整地が十分でなく、障害物も多く、作業中につまずきや転倒する。
可能性	2 可能性がある
重篤性	2 中程度
評価点	4
レベル	2 潜在的なリスク
対策	①ハウス周辺の不要物を整理、整頓し、整地を行う。 ②危険個所には注意を促す掲示を行う。 ③作業中に足元を注意深く確認する。

リスク評価の範囲は様々で、環境、食品安全、労働安全等に対するリスクを評価する。

労働安全に関しては、衝撃的な事実がある。農林水産省、警察庁、厚生労働省が公表しているデータから、就業者10万人当たりの死亡事故件数を示してみた。



可能性は、「1ほとんどない」、「2可能性がある」、「3高い」からの選択で、若い人であれば「1ほとんどない」かも知れないが、高齢世帯の我が家では「2可能性がある」となる。

重篤性は、「1軽度」、「2中程度」、「3重大」から選択で、「2中程度」。

評価点は「可能性」×「重篤性」で、2×2=4。

評価点をリスクのレベルに変換するのが次の表で、評価点4から、レベルは「2潜在的なリスク」と見積もることができ、私の膝の怪我は、起

交通事故や全産業では事故件数は、安全対策が進んでいるためか、年々減少傾向である。それに対し、農業では年々増加傾向にある。H26年で比較すると全産業では1.6人に対して、農業では15.4人。実に約10倍となっている！！

H23年に全産業での死亡事故が増えているが、東日本大震災での被害者が含まれているためである。